

小	163
---	-----

研究主題 「一人一人を大切に、信頼関係に立つ教育の推進」に関する本校の実践

学 校 名 幸手市立さくら小学校

1 教師と児童生徒の信頼関係を築くために、あるいは、いじめ・暴力行為・不登校等の生徒指導上の課題を解決するために、小・中連携(小中一貫)をとおして具体的にどのような取組をしているか。

1 本校の状況

本校は、平成17年度に幸手市立東小学校と幸手市立緑台小学校が統合して9年目を迎えた。近くには国道4号線があり、国道4号線沿いにはホームセンター、ショッピングモールが立ち並んでいる。

児童数は624名(男子337人 女子287人 7月31日現在)、クラス数は普通学級18、特別支援学級1の児童を抱える学校である。開校1・2年目は生徒指導上困難な時期が続いていたが、3年目からは比較的落ち着いた雰囲気の中で児童が学校生活を送ることができている。しかし、現在の落ち着いた学校全体の状況を現状維持するのではなく、本年度も基本的な指導内容や指導体制を確立、充実させ、全ての児童がスムーズに学校生活を送れるようにしていくことが大切であると考えている。

2 教師と児童生徒の信頼関係を築くための取り組み

(1) 本年度の本校の生徒指導上の重点・努力点

一人一人を大切にした生徒指導 ～たくましく生きる力と心豊かな児童の育成～

- ・子どもの声を聴き、共感をもって臨み、きめ細かい児童理解を進める。
- ・善悪を判断できる態度を身に付けさせ、自主的で協力的な態度を養い、心豊かな児童を育成する。
- ・生活目標を通して、基本的な生活習慣を徹底的に身に付けさせる。
- ・いじめの根絶と長欠を出さない学級経営に努める。
- ・保護者・地域との連携を図った協力体制の確立に努める。

(2) 具体的な取り組み

① いきいき委員会の実施

いきいき委員会は、毎月1回、全職員の参加で生徒指導上の問題点を協議し、共通理解を図り、一致協力して生徒指導に当たろうとするものである。いきいき委員会では、輪番で各学年が司会をし、毎月の生活目標、努力点の評価をしあい、成果や問題点を協議している。

そして、同時に各学級、学年における生徒指導上の問題等は、その都度指導した上で報告し合い、いじめ等の有無や不登校児童の実態などの情報を交換し、全職員で対策を協議、検討し、仕事を分担しながら全職員で指導に当たっている。

② 生活目標のふり返しカード

昨年度の3つの達成目標「規律ある態度」に関する検証結果から本校の課題を設定し、生活目標のふりかえりカードを全児童に配布し、個々の評価を実施し、それらについて毎月1週

間、児童の実態を把握し確認をしている。

③ 廊下歩行、あいさつ、無言清掃の徹底

本校の課題である「廊下歩行」「あいさつ」「無言清掃」を年間の努力目標に設定し、1年間を通して児童の目標としていくことにした。そして、教職員一体となって共通理解を図り指導していくことにした。

④ 月の生活目標の徹底

毎月、月初めに全校朝会にて、その月の生活目標の話を生徒指導部員や担当の主任にもらい、生活目標の共通理解を図ると共に全教職員で取り組む体制を整えた。

また、いきいき委員会において、各クラスの取り組みを担当から報告してもらうことにより各担任も対応を練り上げることができるようにした。

⑤ 児童の安全確保

児童の安全を守り、児童に安心感を持たせることは、信頼関係を築くためには重要なことと考える。

- ・ 朝の登校指導…定期的に通学路の立哨指導を行っている。
- ・ 一斉下校…月1回全校による一斉下校を行い、下校指導を行っている。

⑥ 小・中連携のために

- ・ 生徒指導加配により、中学校の教諭が週1回6年生の授業を参観している。
- ・ 8月の市内全職員の人権研修の後、4校合同の職員レクリエーション(バレーボール大会)を行っている。幸手中学校区内の小・中学校4校で行い、その後、懇親会を設けている。まずは、小学校、中学校の先生方同士の顔をつなげ、各学校の状況等、市内の生徒指導部会での話し合いでは得られない情報を交換している。

⑦ その他

- ・ 「保護者と教職員の会」組織との連携、協力
- ・ 学校評議員、民生委員、町内会、子ども110番の家との連携、協力
- ・ 学校応援団、スクールガードリーダー、学校ファーム

3 終わりに

本校では児童による暴力行為やいじめ等がほとんど見られず、現在は落ち着いている。しかし、ろう下歩行に関しては、授業中でもろう下を走っている児童が後を絶たない。走った児童に関して、走った場所からやり直しをさせている。また、授業の準備や学習規律が十分に確立していない面が見られることもあるので、具体的な取り組みをとおして改善していきたい。

今後、いじめ、暴力行為、不登校児童をなくすためにも、いきいき委員会での各学年からの報告などから全職員で児童理解を図るとともに、保護者との連携を密にし、全職員で共通理解に基づく共通行動により解決を図っていきたい。

また、元気にあいさつできる学校として、今後も重点的に取り組んでいきたい。